

授業科目 NO. 114 生涯発達・教育論

Human Development and Education

授業の形態： 講義

単位数（時間数）： 1単位（15時間）

開講年次・学期： 1年次・後期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 発達と教育、ライフサイクル、当事者中心

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学修目標

1) 一般目標（GIO）

看護専門職として成長・向上していくために、生涯にわたり学修を継続する必要性について認識を深めることができる。このため、生涯にわたる各期の学びの特質と固有の課題を説明することができる。生活とライフサイクルに即した学修の特質を理解して自己の課題を見出し、教育・福祉・保健の各領域を横断した解決方法を提示することができる。

また、看護専門職としての使命、役割と責務を果たすうえで、国際的視野（特に人権尊重の理念）に立って、地域文化、当事者の個別性をも踏まえた支援課題の発見と解決方略を提示できる。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 看護専門職として成長・向上していくために、就学前・学校・社会での学びの特質と固有の課題を理解し、生涯にわたり学修を継続する必要性を説明できる。(①④)
- (2) 看護専門職として成長・向上していくために、自己の課題を見出す方法として、生きて暮らす「生活者」の視点に立ち、教育・福祉・保健の各領域を横断する問題とその解決方法について、批判的分析力・論理的思考力・情報活用力を総合して説明できる。(③)
- (3) 看護専門職として成長・向上していくために、自己の課題を解決する方法について、生涯にわたり学修を継続し得る長期的展望のもとで学修計画が立案できる。(③④)

3 学修内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	100%
実習成績	%
レポート	%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：吉川 一義

非常勤講師 吉川 一義

6 教科書

適宜、資料を配布する。

7 推薦参考書

- ・科学としてのリハビリテーション医学、上田 敏、医学書院
 - ・ICF の理解と活用、上田 敏、きょうされん発行
 - ・子どものリハビリテーション医学 発達支援と療育 第3版、伊藤利之監修、医学書院
- この他、授業テーマ・論点に関連する参考資料（図書、映画、新聞記事など）を適宜提示します。

8 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学修・事後学修として計90分程度必要です。
授業中に適宜示した参考資料（図書、映画、新聞記事など）については、積極的に閲覧して授業で述べた論点との関係を確認しながら理解を深めること。

9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- ・試験に関しては、試験後に配付する解答でフィードバックを行う。

10 履修上の注意事項

特になし。

11 オフィスアワー等

授業の終了後、または、メール（kazuyosi@ed.kanazawa-u.ac.jp）にて、適宜、受ける。

第1学年

生涯発達・教育論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	10月04日(金)	2	講義	社会が求める価値と教育観(1)近代過渡期から成熟期を俯瞰する			吉川非常勤講師
後	2	10月11日(金)	4	講義	社会が求める価値と教育観(2)社会の変化と個人に求められる資質の変遷から俯瞰する			吉川非常勤講師
後	3	10月18日(金)	2	講義	社会が求める価値と個人の生き方-規則功利主義と行為功利主義-			吉川非常勤講師
後	4	10月25日(金)	2	講義	発達と学びの課題(1)乳幼・児期から学童期			吉川非常勤講師
後	5	11月01日(金)	2	講義	発達と学びの課題(2)青年期から成人期			吉川非常勤講師
後	6	11月08日(金)	4	講義	“障がい”から学びを考える(1)「個別性」尊重の有効性と重要性			吉川非常勤講師
後	7	11月15日(金)	2	講義	“障がい”から学びを考える(2)学びにおける「本人中心」であることの再考			吉川非常勤講師
後	8(7.5)	11月22日(金)	2	講義	まとめ:多様性共生社会と学び			吉川非常勤講師